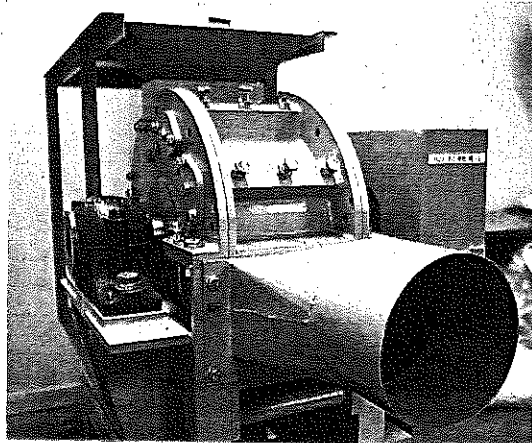


繊維微粉碎装置

石川総研(静岡市駿河区)



CNF製造向けの繊維微粉碎装置「ATOMZ-LABO」

植物由来の新素材「CNF(セルロースナノファイバー)」の製造過程で、紙や木材などの複雑に絡み合った繊維をできるだけ壊さずに、綿状に解きほぐすマ

静岡
ものづくり
最前線

シン。良質な繊維を少量生産したい研究ラボ向けの小型機として開発した。機軸は長さ80センチ、幅65センチ、高さ1メートル20センチ。回転刃が原料のパルプシートなどを投入すると、搭載された回転刃が繊維をほぐし、微粉碎する。刃の形状や回転速度、スクリーン(ふるい網)の穴の径を組み合わせ、取引先が希望する繊維の形状や長さ(3ミクロン・5ミクロン)に調整できる。長年紙オムツ吸水素材向けの量産用機械を手掛けてきた。製造現場には長さ60センチ幅3メートルの大型機もあるが、今回のCNF向けマシンは研究室などの省スペースで導入できるよう小型化を図

CNF製造向け小型化

った。「乾式」方式を採用し、湿式より低エネルギーで、作業時間短縮につながる。

鉄よりも軽量で、高強度なCNFを活用し、自動車部品や電子部品、化粧品など幅広い分野での製法開発研究が進んでいる。石川総研社長は「CNF製造の生産性向上を高める繊維の供給を通じ、本県の産業発展に貢献したい」と話す。機械の販売と製造受託の2本柱で、企業の開発をサポートする。

企業情報



2009年設立。社員4人。静岡市駿河区西脇669の1。

経済しずおか